

## 「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり		
施策	③交通安全対策の推進			
主な取組	交通安全対策・飲酒運転根絶対策事業	実施計画 記載頁	121	
対応する 主な課題	交通死亡事故に占める飲酒絡みの死亡事故の割合が全国ワースト2位(23年)、人身事故に占める飲酒絡みの事故の割合が全国ワースト1位(23年現在、22年連続)であるなど極めて深刻な状況にある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	<p>【目的】 交通の安全と円滑の確保</p> <p>【取組】</p> <p>①「沖縄県飲酒運転根絶条例」を踏まえた飲酒運転根絶に向けた県民意識の高揚                  ②事業所、飲食店、各地区飲酒運転根絶連絡協議会等と連携した取組                  ③参加体験型の交通安全教育、広報啓発活動等の各種飲酒運転根絶対策の推進                  ④飲酒運転取締りの強化                  ⑤飲酒運転取締り用資機材の整備</p>						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	「沖縄県飲酒運転根絶条例」に基づく県民意識の高揚					→	県
	飲酒運転取締りの強化						
担当部課	警察本部交通部交通企画課、交通指導課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
①交通安全対策費 ②交通指導取締費	①12,684 ②5,911	①12,346 ②5,928	<p>■各種飲酒運転根絶対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒運転根絶県民大会の開催(10月)</li> <li>・「飲酒運転の根絶運動の日」の取組(毎月1日)</li> <li>・飲酒運転実態(事故、検挙)の公表(3か月毎)</li> <li>・二日酔い運転防止キャンペーンの実施(7月)</li> <li>・飲酒運転根絶社員教育リーダー養成講座の開催</li> <li>・飲酒疑似体験ゴーグルの活用や自動車学校等と連携した参加、体験、実践型飲酒運転根絶教育の推進</li> </ul> <p>■飲酒運転の取締り並びに取締り資機材の整備及び保守</p> <p style="text-align: right;">【全て県単等】</p>	-
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			

様式1(主な取組)

<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	各種交通事故抑止対策の推進、飲酒運転取締り及び事故に直結する違反の取締りを強化した結果、交通事故死者数は統計史上最少の40人(前年比-5人)、交通人身事故は6,697件(前年比-91件)と減少
---	--

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
①交通安全対策費 ②交通指導取締費	①13,401 ②6,266	■各種飲酒運転根絶対策 ・「沖縄県飲酒運転根絶条例」を踏まえた飲酒運転根絶に向けた県民意識の高揚 ・事業所、飲食店、各地区飲酒運転根絶連絡協議会等と連携した取組 ・参加体験型の交通安全教育、広報啓発活動等の各種飲酒運転根絶対策の推進 ■飲酒運転取締り並びに取締り資機材等の整備及び保守 【全て県単等】	-

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様、事業推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
交通事故死者数	45人(H23)	40人(H24)	39人以下	5人	4,411人(H24)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
交通人身事故発生件数	6,501件(H22)	6,788件(H23)	6,697件(H24)	→	665,138件(H24)
状況説明	■ 各種交通事故抑止対策を推進した結果、交通事故死者数は統計史上最少の40人(前年比-5人)、交通人身事故は6,697件(前年比-91件)と減少 ■ 他方、飲酒絡みの人身事故は126件で前年と同数、死亡事故は7件で前年比2件増加する等全人身事故に占める飲酒絡みの事故の割合(全国ワースト1位)、全死亡事故に占める飲酒絡みの死亡事故の割合(全国ワースト2位)は全国に比べ依然として高い。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

交通事故死者数は前年比で減少しているものの、交通人身事故は高止まり傾向が続いており、また、全人身事故、全死亡事故に占める飲酒絡みの割合は依然として高い。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

■ 飲酒運転根絶に向けた県民意識の更なる高揚  
 ■ 飲酒運転取締りの強化及び詳細な事故発生状況の分析に基づく交通人身事故抑止対策の強化

4 取組の改善案(Action)

■ 関係機関・団体等との連携を一層緊密にして、広報啓発活動や交通安全教育等飲酒運転根絶対策を効果的に推進する。  
 ■ 各警察署管内における各種交通事故発生状況の分析を基に地域の実情に応じた交通指導取締りを実施する。